

人のいいなりにならない

M 生

人が右と言えれば右、左と言えれば左 などと言うように自分の考えを持たずに動く人は、あやつり人形と同じです。

そんな人は友達から、悪い事に誘われても断ることが出来ず、何でもいいなりになってしまいます。自分の言いたいことも言えず、したいことも出来ない一生では何のためにこの世へ生まれてきたのか、わからなくなってしまいます。

たとえよその城にとじこめられていても、自分は人のいいなりにならない、という心を忘れていなかったからです。

自分がどこまでも「地球は動いている」と言い続けたのも自分の考えは正しいと信じていたからです。何が正しくて、何が正しくないかを自分で判断できる力を、子どもの時からしっかり身につけておきたいものです。

そして正しいと思うことは、人から何と言われようとも変えてはなりません。

人のいいなりになるのは、気が弱いからでなく、自分の考えをしっかりと持たないからです。

でも、私に出来ることは小さなこと。

でも、それを感謝して出来たら、

きっと大きなことだと思えます。

人生一生勉強

町田高之 (OB)

私は人生一生勉強だと信じております。

現在失業者の方々が多くいらっしゃる中で、「職業技術専門学校」で技術を習得する為「面接」のほか「学科試験」があり、なかでも「国語」と「数学」を身につけなければいけません。「漢字の読み書き」「計算、方程式」ほかが出題されます。

「人」という文字を「形」で書き表わすと、どちらかが無いと倒れてしまいます。ですから、「人」は一人では生きていけないのです。

「互」や「親」という文字も同じことです。

人間は「互」に支えあって生き

「親」という文字は、子どもが大きくなれば「立つ」「木」を「見守る」から、このような、文字が誕生したのだと考えております。

私は、一生勉強 人生 一生勉強です。



# 7・8月の教室予定

月	川口パートナーステーション（火曜日）					栄町公民館（金曜日）				
7月	2日	9日	16日	23日	30日	5日	12日	19日	26日	-
8月	6日	<del>13日</del>	20日	27日	-	2日	9日	<del>16日</del>	23日	<del>30日</del>

 休み

## スタッフ会議（7月26・30日）

当日は8時までの学習になります。

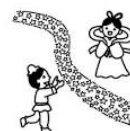
スタッフは必ず出席しましょう。やむを得ず出席できないとき

は、代表か副代表に話してください。

生徒も参加するよう働きかけてください。

### スタッフ会議議題

生徒・スタッフ関係  
夏休みについて  
夏の交流会  
その他



川口自主夜間中学: 文集13年ぶり復刊 外国人生徒や86歳女性も投稿 熱い思いがいっぱい / 埼玉 毎日新聞 2013年06月01日 地方版

日本語が不自由な外国籍の人や不登校の子どもたちが通う「川口自主夜間中学」（金子和夫代表）の文集「胎（たいどう）動」が刊行された。2000年の第7号を最後に途絶えていたため、今回の第8号は13年ぶり。生徒20人のほか、ボランティアで教える元教師や卒業生らが約40編を投稿し、それぞれの思いをつづっている。

「胎動」の創刊は、1985年の夜間中学開校から数年後。「埼玉に夜間中学を作る会」代表の野川義秋さん（64）らが中心になり、「（生徒らの）考え方や生き方を知ってもらい、夜間中学への支援の輪が広がることを願って始めた」。その後、1、2年に1回のペースで発刊していた。

数年前から「復刊しよう」との声が高まり、昨年4月に復刊が決まった。実行委員長の元高校教師の遠藤芳男さん（63）は「原稿集めが大変だった。外国人の生徒も多く、まず書くことを説得するのに時間がかかった。日本語が書けない人には、母国語で書いてもらい翻訳した」と話す。

ようやく完成した文集には、生徒や先生たちの熱い思いが詰まっている。

「にほんごをべんきょうして、たくさんこみゆにけーしょんできるようにがんばります」（フィリピン）

「友情…困難を乗り越える力、人を助ける大事さ…貴重な体験を夜間中が私に与えてくれた」（中国）

数年前まで夜間中に通っていた川口市の阿部次子さん（86）からは、週2回のデイサービスの1日をユーモアたっぷりにつづった元気な便りが寄せられた。

遠藤さんは「文集を読むことで、それぞれの人柄や考え方が伝わり、理解する手がかりになる。今後、2年に1回程度定期的に発行を続けたい」と話している。【鵜沢哲雄】

「胎動」は1冊300円以上で販売しています。ほしい方は遠藤まで。